



藤沢市地産地消の推進に関する条例及び

藤沢市地産地消推進計画について





藤沢市地産地消の推進に関する条例 (93頁)

～社会的背景～

輸入食品の偽装問題など社会的に食品への安全性が求められていた。また、都市型農業を継続していくためにも、耕作放棄地や荒廃地の問題、自給率の向上、食育の推進、市内の農業の活性化等などの課題があった。

→ 2009年9月議会において、議員提案による「藤沢市地産地消の推進に関する条例」が制定

→ 関係機関の役割のほか、計画の策定や協議会の組織を位置づけ





藤沢市地産地消推進計画 (3頁)

- 条例13条に基づき、地産地消の推進に関する施策を計画的に推進するための指針として策定。

藤沢市地産地消推進協議会 (96頁)

- 条例14条に基づき設置。地産地消推進計画に関する事項等を調査審議する組織。
- 組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定められている。

→藤沢市地産地消推進協議会規則





藤沢市地産地消推進事業実行委員会 (34、98頁)

- 藤沢市地産地消推進計画に基づき、地産地消推進事業を実施する機関として組織。
- 実行委員会は、藤沢市地産地消推進協議会の委員の中から構成。
- 実行委員会は、予算・決算、事業計画等を審議し、決定する。
- 実行委員会の経費は、負担金（令和5年度は160万円）をもって充てる。
- 3つの部会（藤沢ブランド創出部会、学校・保育園給食供給強化部会、地産地消普及啓発部会）を編成。





藤沢市地産地消推進計画の概要 (目次 1 頁)

第1章 計画の策定にあたって

- 計画策定の趣旨
- 計画の位置づけ
- 計画の期間
- 地産地消とは

第2章 藤沢市の農水産業

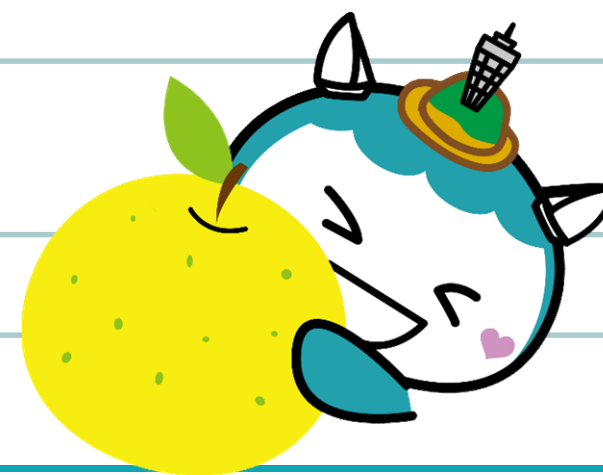
- 藤沢市の農水産業の現状
- 藤沢産農水産物カレンダー

第3章 第4期計画で実施した取組と進捗状況

- 第4期計画の取組
- 重点的に取り組む施策の状況
- 長期的に取り組む施策の状況

第4章 第5期計画に向けた施策の検討

- 重点的に取り組む施策の検討
- 長期的に取り組む施策の検討





藤沢市地産地消推進計画の概要

第5章 第5期計画における施策

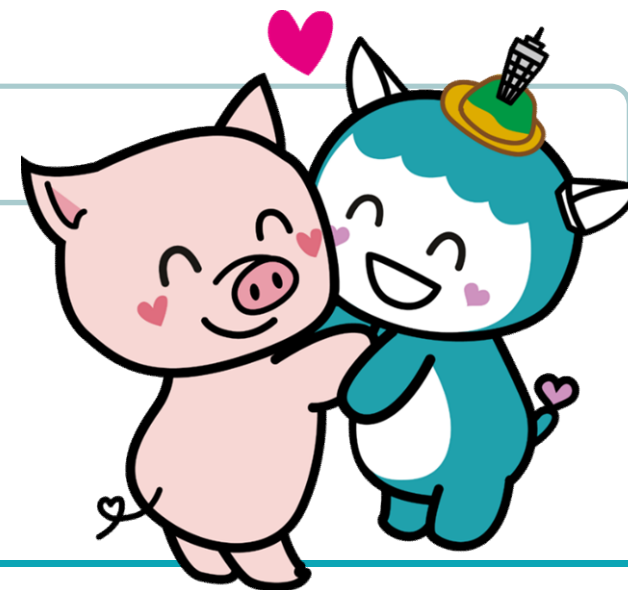
- 重点的に取り組む施策
- 長期的に取り組む施策
- 第4期計画と第5期計画の比較表

第6章 計画の推進にあたって

- 計画の推進体制
- 関係者の役割

資料編

- 令和2年度地産地消に関するアンケート調査結果
- 藤沢市地産地消の推進に関する条例
- 藤沢市地産地消推進協議会規則
- 藤沢市地産地消推進事業実行委員会規約
- 藤沢市地産地消推進協議会委員名簿





第5期計画における施策 (41頁)

1 重点的に取り組む施策

- ・ 藤沢ブランドの創出
- ・ 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化
- ・ 地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化

2 長期的に取り組む施策

- ・ 藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策
- ・ 本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策
- ・ 関連する施策との連携



重点的に取り組む施策 (4 1 頁)

(1) 藤沢ブランドの創出

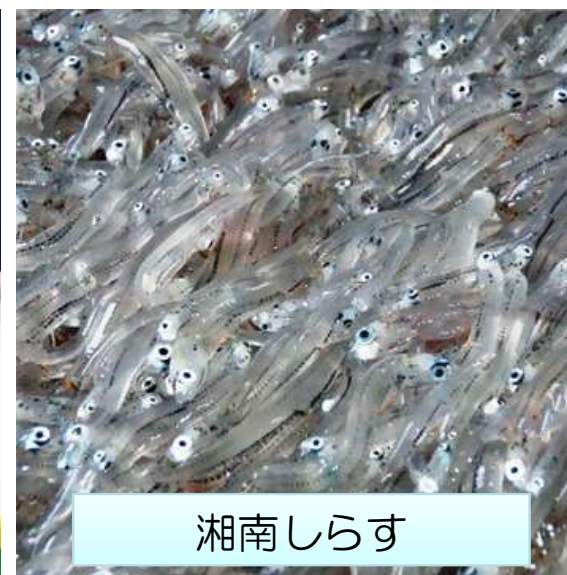
- ・ 藤沢ブランドとなる新たな一次産品の創出
- ・ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援
- ・ 未利用魚の認知度向上
- ・ 産地競争力の強化



さがみのトマト



湘南ポークオリーブプレミアム



湘南しらす



重点的に取り組む施策 (42頁)

《目標》

取組項目：ア 藤沢ブランドとなる新たな一次製品の創出

イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援

目標値：かながわブランドへの登録件数

・現状（令和6年1月） 19件

・令和8年度目標 23件

うち登録名に「藤沢・ふじさわ」が入っているもの 5件

○藤沢産品のかながわブランドへの登録数19件（令和6年1月現在）

- ①さがみのレタス ②さがみのトマト ③津久井在来大豆（さがみ産） ④横濱ビーフ ⑤やまゆり牛 ⑥さがみ牛 ⑦湘南和牛 ⑧生粋かながわ牛 ⑨やまゆりポーク ⑩かながわ夢ポーク ⑪湘南ポークオリーブプレミアム ⑫かながわ鶏 ⑬高座豚手作りハム ⑭生芋こんにやく 生芋つきこんにやく ⑮湘南しらす（生） ⑯湘南しらす（加工品） ⑰湘南はまぐり ⑱江の島カマス ⑲湘南土ねぎ（さがみ）



重点的に取り組む施策（43頁）

（2） 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化

- 藤沢産米の利用促進
- 藤沢産農水産物等の利用促進
- 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進
- 給食を通じた家庭への情報発信
- 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用





重点的に取り組む施策 (44頁)

《目標1》

取組項目：ア 藤沢産米の利用促進

目標値：藤沢産米の使用数量（精米ベース）

（小学校及び特別支援学校）

・現状（令和4年度実績） 36校 29回 49,120kg

・令和8年度目標 達成済

（中学校）

・現状（令和4年度実績） 19校 5回 1,950kg

・令和8年度目標 19校 7回 2,660kg

（保育園）

・現状（令和4年度実績） 1園 20kg

・令和8年度目標 14園 1,000kg





重点的に取り組む施策 (44頁)

《目標2》

取組項目：イ 藤沢産農水産物等の利用促進

オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用

目標値：学校給食における青果物の藤沢産使用割合

(小学校及び特別支援学校)

- ・現状（令和4年度） 12.3%
- ・令和8年度目標 22.7%





重点的に取り組む施策 (47頁)

(3) 地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化

- ・新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催
- ・生産者と消費者の交流イベント等の開催
- ・食育・健康施策との連携
- ・未来を担う若い世代への普及啓発
- ・藤沢産農水産物等の表示



収穫体験講座



畜産ふれあいまつり



藤沢産ロゴマーク





重点的に取り組む施策 (48頁)

《目標》

取組項目：才 藤沢産農水産物等の表示

目標値：藤沢産ロゴマークの認知度

- ・現状（令和4年度アンケート調査） 40.0%
- ・令和8年度目標 50.0%



藤沢産ロゴマーク







長期的に取り組む施策 (49頁)

(1) 藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策

- ・安心・安全な藤沢産農産物の生産・流通体制の整備
- ・新鮮な藤沢産農水産物の提供
- ・藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供
- ・藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化





藤沢産利用推進店で おいしい藤沢産を楽しもう♪



『藤沢産利用推進店』とは
地産地消に取り組むお店です!

オレンジ色の
グッズが
目印キュン♡

飲食店、菓子、ケーキ、農産物加工
品・畜産物加工品・水産物加工品の
販売店など、さまざまなジャンルの約
100店舗が登録されています。

プレート

※すべての食材について藤沢産の農水産物を使用
しているわけではありません。
※旬の食材や新鮮な食材、数量に限りがある食材
を使った料理など、時期や時間によっては、藤沢
産の食材を提供できない場合があります。

ひとキュン♡・ふたキュン♡♡の
ランク付けをしています!

〈藤沢産利用推進店になるには〉
藤沢産食材を常時使用している。
小売店、飲食店・宿泊施設: 200日以上
移動販売店: 100日以上
海の家: 営業日全日

ひとキュン♡

- 藤沢産食材を1品目以上使用している。

ふたキュン♡♡

- 次のどちらか一方を満たしている。
 - ①藤沢産食材を常時3品目以上かつ年間10品目以上使用している。
 - ②藤沢産食材を常時5割以上使用している。
- 藤沢産食材を使用していることが
分かりやすく表示されている。

【登録店舗数】
ひとキュン ♡ 63店舗
ふたキュン ♡♡ 33店舗
合計 96店舗





長期的に取り組む施策 (52頁)

(2)本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策

- ・担い手の育成支援及び確保
- ・持続可能な生産環境への支援



(3)関連する施策との連携

- ・公民館・地域団体等が実施する施策との連携
- ・観光施策との連携
- ・シティプロモーション事業との連携

